

## 平成 27 年度 学校評価について

3月に実施した「生徒」「保護者」「教職員」の学校評価アンケート結果と学校経営計画の自己評価についてお知らせします。

### ■ 学校自己評価について>

学校経営計画について、項目ごとに下記基準にもとづき評価しています。

- |   |                            |
|---|----------------------------|
| A | 目標を超過達成した。新規企画を充分達成した。     |
| B | 目標をほぼ達成した。                 |
| C | 目標を一部達成できなかった。             |
| D | 目標をほぼ達成できなかった。             |
| F | 外的な要因等により、目標に取組ことが不可能であった。 |

### I 学校自己評価について

領域	テーマ	方策等（下線部は新規）	評価
学習 指導	1 授業改善	全専任教員は授業アンケートを年度途中に実施し、 <u>評価 3.0 以上を実現する。ICT 教育の抜本的改革を計画すると共に、無線ランを活用した授業を積極的に行う。</u>	C
	2 教育課程	<u>6 年一貫教育課程について総括すると共に新規教育課程を実施する。6 年新科目の開設準備及び「E S D」を円滑実施する。</u>	B
	3 協同学習	協同学習について研究開発事業やSGHとも連携しつつ、理論的に再整理すると共に、 <u>後期課程での実践を広げる。</u>	B
	4 Kobe プロ	<u>3.4 年の課題学習・卒業研究入門を実施する。図書</u> の拡充を図り、 <u>Kobe プロの部門ごとに、教員の担当体制を改革する。</u>	B
	5 食育指導	給食は前期課程を中心に行う。 <u>次年度 3 年生の実施形態について検討する。アレルギー対策としてエビペン研修を行なう。</u>	B
生徒 指導	6 自主活動	生徒会執行部活動及び生徒による諸行事（文化祭・体育祭・合唱祭等）を支援する。執行部と副校長懇談会を継続する。また、 <u>グローバルアクションプログラムを支援する。</u>	B
	7 宿泊行事	<u>SGH との関連を明確にしつつ、各宿泊行事を成功させる。今後はふまえ、宿泊行事検討 WG を立ち上げる。カナダ語学研修を 3 年にも拡大する。</u>	A
	8 部活動支援	各部への顧問配置を増やす。生徒等の意見・要望を集約し、部活動の改善について検討する。 <u>部室増設構想を策定する。</u>	C
	9 生活指導	ティーンズアップ育成に関して「互いを認めあう」等をキーワードに、 <u>道徳・HR 等を通して学校として組織的な指導を行う。</u>	C
	10 教育相談	スクールカウンセラーと連携した教育相談事業を継続する。 <u>QU 活用を定着させ、個々の生徒に応じた学習支援体制を強化する。</u>	B
	11 生徒福利	購買部設置を受けて、 <u>生徒会・保護者の要望を踏まえながら、神戸大生協の運営をサポートする。</u>	A
進路	12 進路指導	後期課程での進路に関する指導を綿密に行うと共に、 <u>各種資料の分析などを通して、情報の組織的共有を図る。</u>	B

指導	13 進路保障	6年では、生徒の進路希望実現に向けた進路指導・相談を丁寧に行うと共に、進路保障に尽力する。	B
	14 キャリア教育	前期課程では、KUトライアルを継続実施する。国際教育との関連を踏まえつつ全学年を通してキャリア教育に力を入れる。	B
	15 進路広報	進路情報の公開を継続すると共に、学年保護者会等を通して、 <u>前期課程も含めた生徒・保護者への進路広報活動を強化する。</u>	B
研究政策	16 SGH 研究開発	SGH 指定を受けて <u>グローバルキャリア教育を飛躍的に発展させる。</u> 各部会等を円滑に実施し、公開授業研究会等を成功させる。また、 <u>検証評価の体制を整備すると共に、各種評価を実施する。</u>	B
	17 SGH 課題研究	SGH「課題研究」については、卒業研究の枠組みを利用して試行する。4領域ごとの大学の支援体制を整備する。	B
	18 SGH 国際交流	SGH指定を受けて <u>グローバルアクションプログラムを整備する。</u> 「留学生受入れ」「国際交流事業の開拓」等を円滑に進める。	A
	19 地歴研究開発	研究開発学校指定3年次にあたり、4年新科目「地理基礎」、「歴史基礎」の研究開発を本格実施し検証する。学術会議と連携を深め、運営指導委員会、公開授業研究会等を円滑に実施する。	A
	20 研究活動	公開授業研究会をSGHと関連させつつ進める。 <u>ユネスコスクールに加盟をふまえ、発達科学部のESD事業に協力する。</u>	B
危機管理	21 安全管理	防災訓練を徹底する。神戸市の支援を得て、防災備蓄物資の拡充を図る。感染症対策、防犯・防災・衛生教育を行う。	C
	22 情報管理	情報管理の改善を図ると共に、必要な情報機器・システムの整備を行う。英文ホームページを円滑に運営する。	B
	23 施設整備	次年度以降の年度別教室配備計画を策定する。必要な什器を揃えと共に、ICT教育環境を充実させる。	B
学校経営	24 人事計画	交流人事に関する新基本方針を策定する。校内では、昇給に関するルール作り着手する。 <u>ALTの常勤化について、雇用形態も含め検討する。</u>	A
	25 教員研修	初任者研修・着任者研修の充実を図る。同僚性を高める場として、校内の授業公開等を活用する。各種研修出張を支援する。	B
	26 財政措置	急増期に対応するため、借入金を継続すると共に、 <u>緊縮財政を継続する。</u> 急減期の財政計画を策定する。	B
	27 事務室連携	事務室の改組に伴う財政、職員会議参加、電話対応等をはじめとする事務室との一体的運営を定着させる。	B
	28 保護者対応	学年保護者会の持ち方をPTAと共催にする。 <u>PTSA（生徒が参加する形態）の活動を推進すると共に、副校長が参加する等、保護者と学校が情報共有できるよう工夫する。</u>	B
	29 適性検査広報	オープンスクール、KUチャレンジ、文化祭招待、適性検査説明会及び連絡進学説明会等を通して、検査の広報活動を徹底する。	A
	30 適性検査実施	昨年度の総括をふまえ、問題作成及び連絡検査及び一般適性検査を円滑に実施する。実施に向けた準備体制を整える。	A
大学連携	31 高大連携	SGH 高大連携委員会と連携し、各種事業を円滑に進める。大学との高大接続について、 <u>実現に向けた作業を進める。</u>	A
	32 小中連携	連絡進学に関する広報活動を円滑に進めると共に、 <u>実施後の検証を行う。</u> 英語教育をはじめとする小中連携を進める。	B

### <コメント>

新規事業であるSGH及び研究開発や入学適性検査関連は超過達成も多く「A」評価をしています。

いっぽう、教職員・生徒・保護者アンケート結果をもとに「授業改善」「危機管理」「部活動」「生活指導」等の分野で、不十分な面があったことから「C」評価としています。特に「C」評価の改善方策については、平成28年度「学校経営計画」に反映させています。また、自己評価に基づき、学校関係者評価を実施する予定です。

## II 学校評価アンケート結果について

3月に実施した学校評価アンケート（生徒、保護者：1～5年）の結果についてお知らせします。なお、アンケートの回答数は次の通りです。なお、明石校舎と住吉校舎に分かれていた昨年度までとは違う項目で実施しているため、結果の分析にあたって昨年度の比較を行っていませんのでご了解ください。

生徒アンケート 843 名中 813 名が回答（96%）  
保護者アンケート 843 名中 736 名が回答（87%）

また結果については、以下の表記を併用しています。

### A 点数表示

- ①よくあてはまる：4点
- ②ややあてはまる：3点
- ③あまりあてはまらない：2点
- ④まったくあてはまらない：1点

として、平均点を数値化したもの。

### B 分布表示

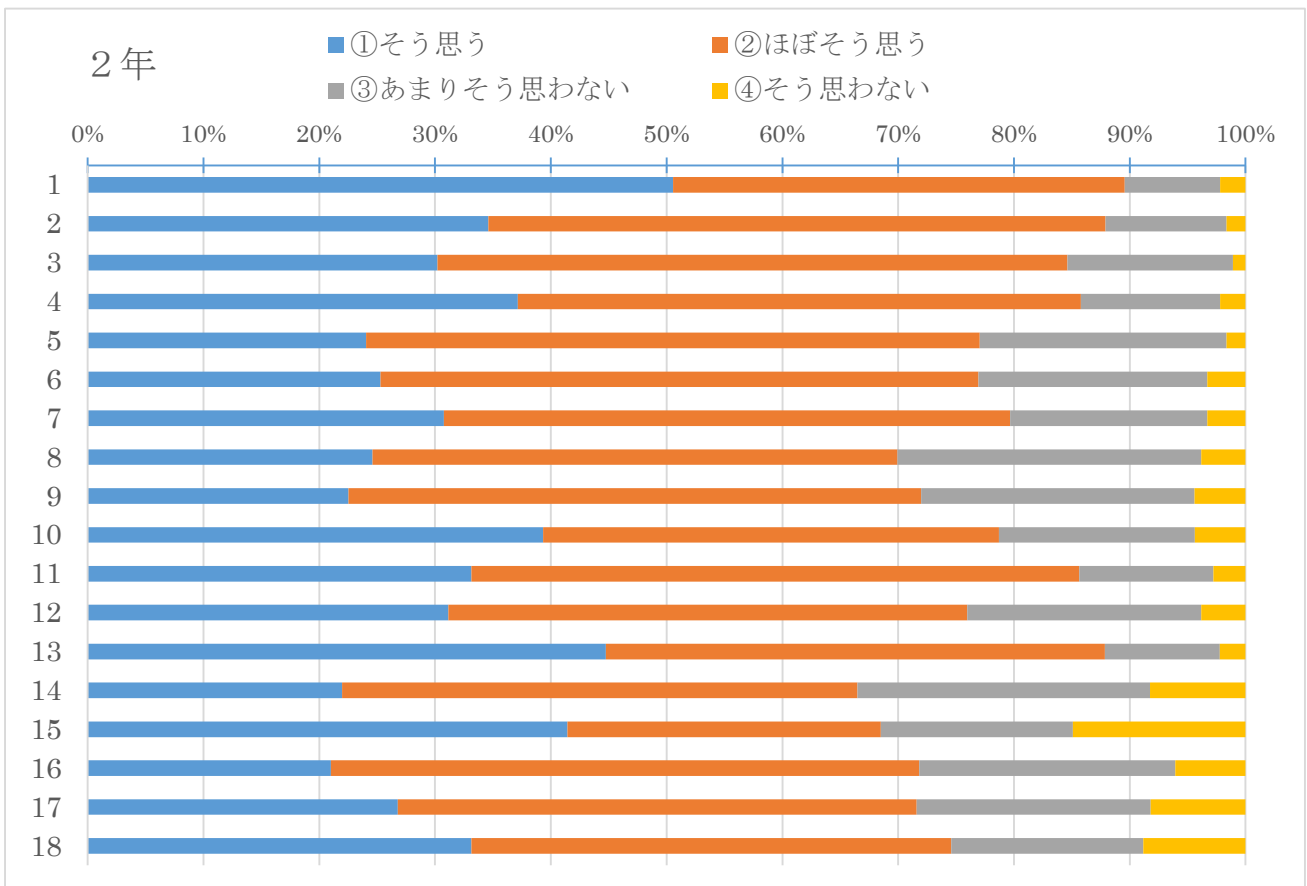
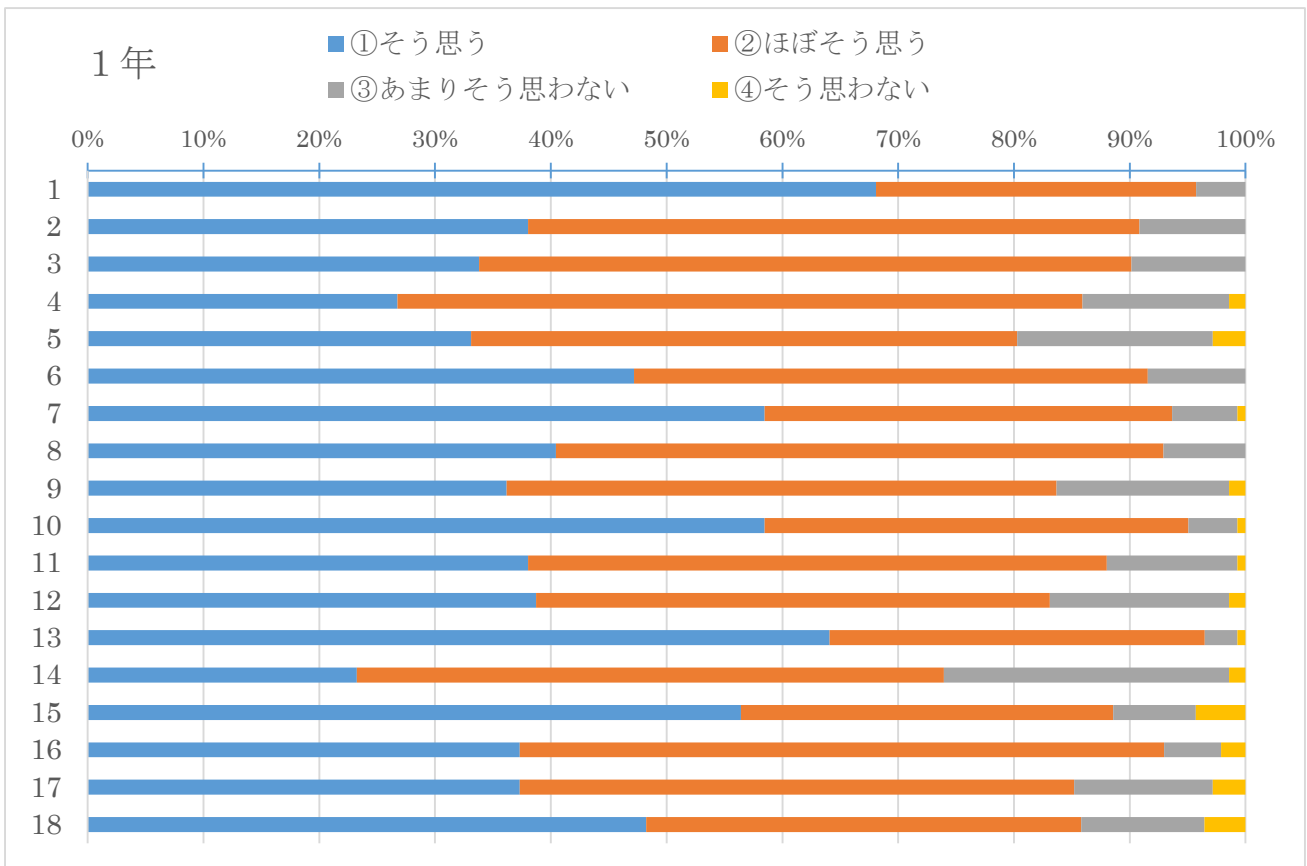
上記①～④及び⑤（わからない）を%表示したもの。

## ■ 生徒のアンケート結果

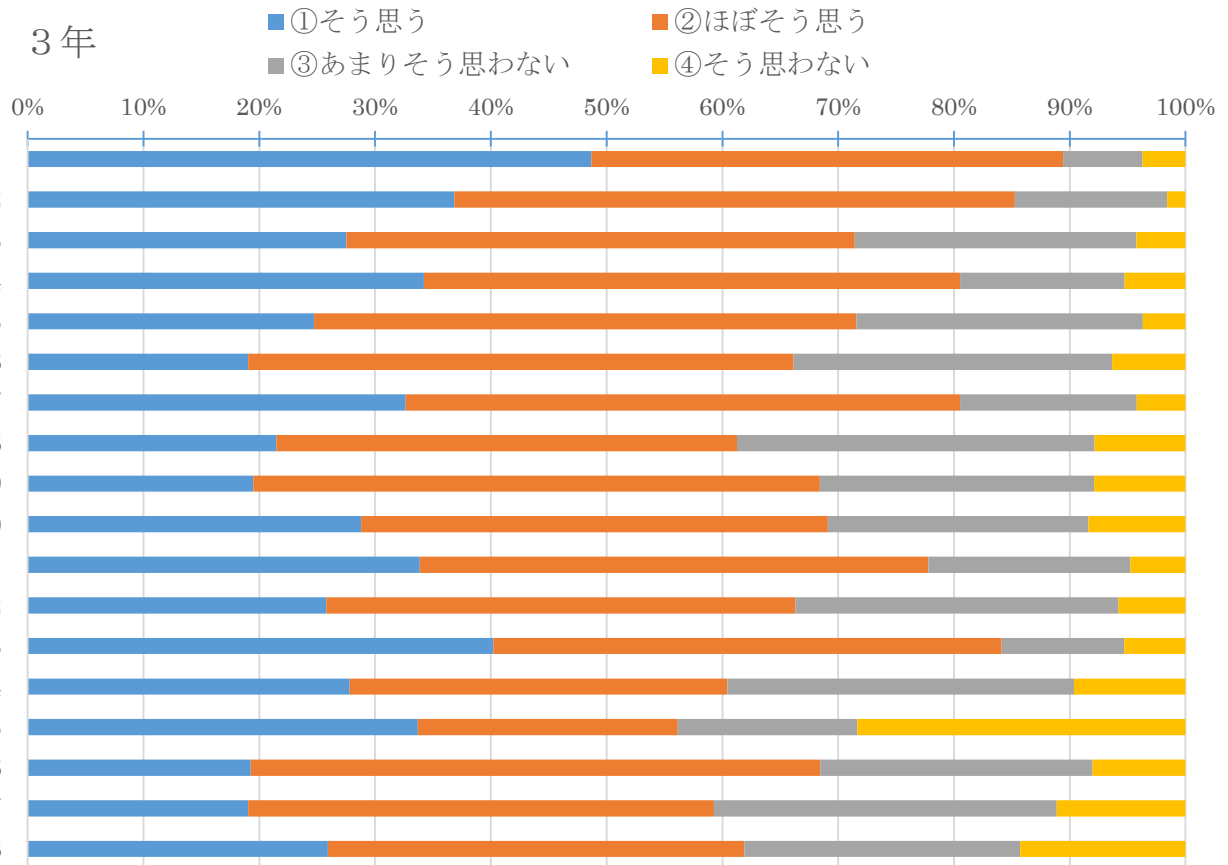
### A 点数表示

質問項目(Q2～4は、前期課程と後期課程で異なる)	1年	2年	3年	4年	5年	総計
Q1.自分は、楽しい学校生活を送っている。	3.64	3.38	3.34	3.20	3.56	3.42
Q2.あいさつの習慣が身についている。	3.29	3.21	3.21			3.23
Q3.毎日の清掃をきちんとしている。	3.24	3.14	2.95			3.11
Q4.時間を守り、きめられた服装や正しい言葉遣いをしている。	3.11	3.21	3.09			3.14
Q2.学校のルールや社会的マナーを守ろうとしている。				3.20	3.36	3.28
Q3.将来の進路について、考えるようになった。				3.25	3.61	3.43
Q4.さまざまな取り組みを通して、神戸大学を身近に感じるようになった。				2.48	2.82	2.65
Q5.授業には、積極的に参加している。	3.11	2.99	2.93	2.96	3.09	3.02
Q6.授業の内容や教え方を工夫している先生が多い。	3.39	2.99	2.79	2.75	2.76	2.93
Q7.学校では、グローバルな視点から考えたり学んだりする場がある。	3.51	3.07	3.09	3.01	3.08	3.15
Q8.学校には豊かな心や人の生き方について考えたり学んだりする場がある。	3.33	2.91	2.75	2.62	2.80	2.88
Q9.学校には命や人権の大切さについて考えたり学んだりする場がある。	3.18	2.90	2.80	2.39	2.56	2.77
Q10.Kobe・プロジェクト(総合学習)は、自分にとって大切な学習である。	3.53	3.14	2.90	2.67	2.62	2.97
Q11.自分の考えをまとめたり発表したりする機会に、しっかりと取り組んでいる。	3.25	3.16	3.07	2.86	2.99	3.07
Q12.地震や火災などが起こった場合、避難方法などどうすればよいかを教えてもらっている。	3.20	3.03	2.86	2.59	2.75	2.89
Q13.学校行事(宿泊行事を含む)は、自分自身が成長する機会になっている。	3.60	3.30	3.19	2.90	3.25	3.25
Q14.生徒の自主活動(生徒会、学級、委員会等)には、積極的に参加し協力している。	2.96	2.80	2.79	2.55	2.78	2.78
Q15.クラブ活動に積極的に参加している。	3.41	2.95	2.61	2.53	2.79	2.86
Q16.先生は、的確に自分を評価してくれる。	3.28	2.87	2.80	2.64	2.97	2.91
Q17.先生は、いじめや生活・学習の問題について対応してくれる。	3.20	2.90	2.67	2.51	2.89	2.83
Q18.学校の施設・設備が充実している	3.30	2.99	2.74	2.38	2.63	2.81
	3.31	3.05	2.92	2.75	2.96	3.00

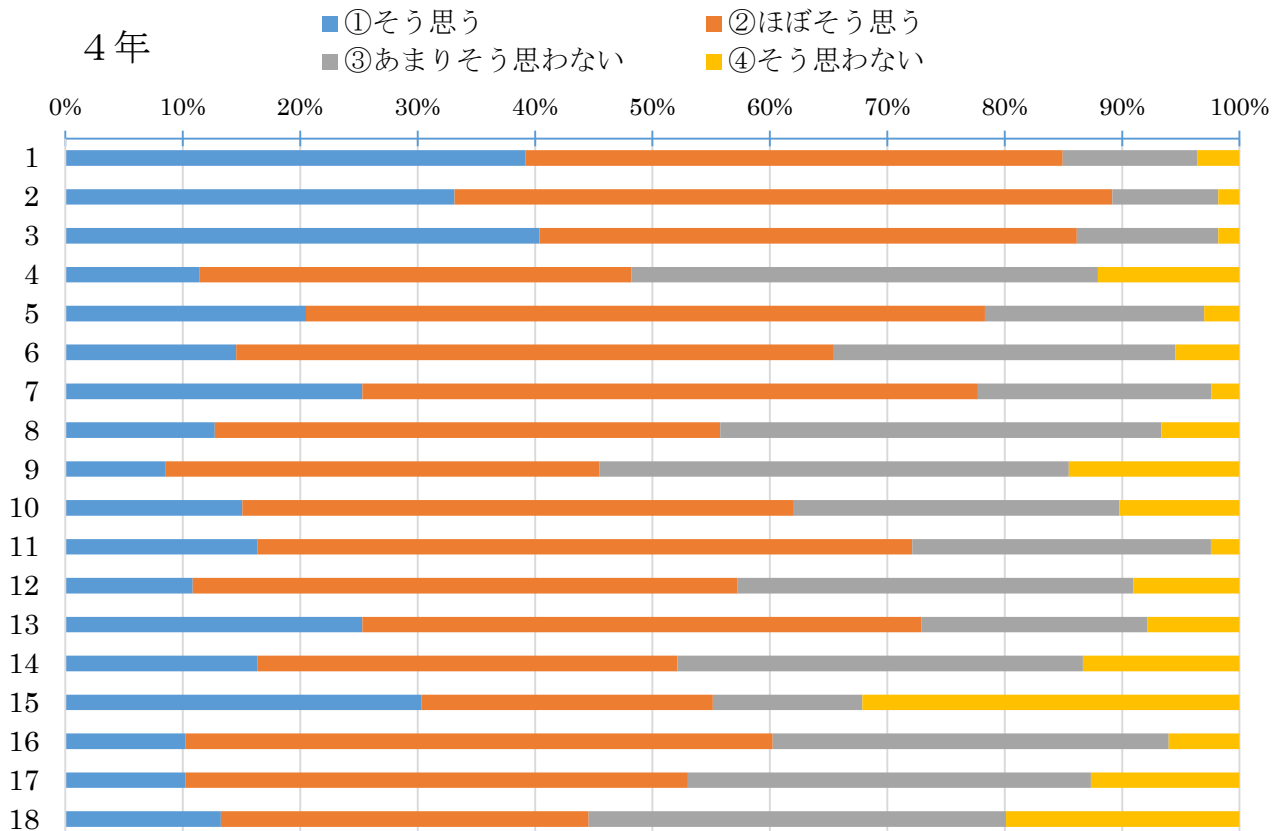
## B 分布表示

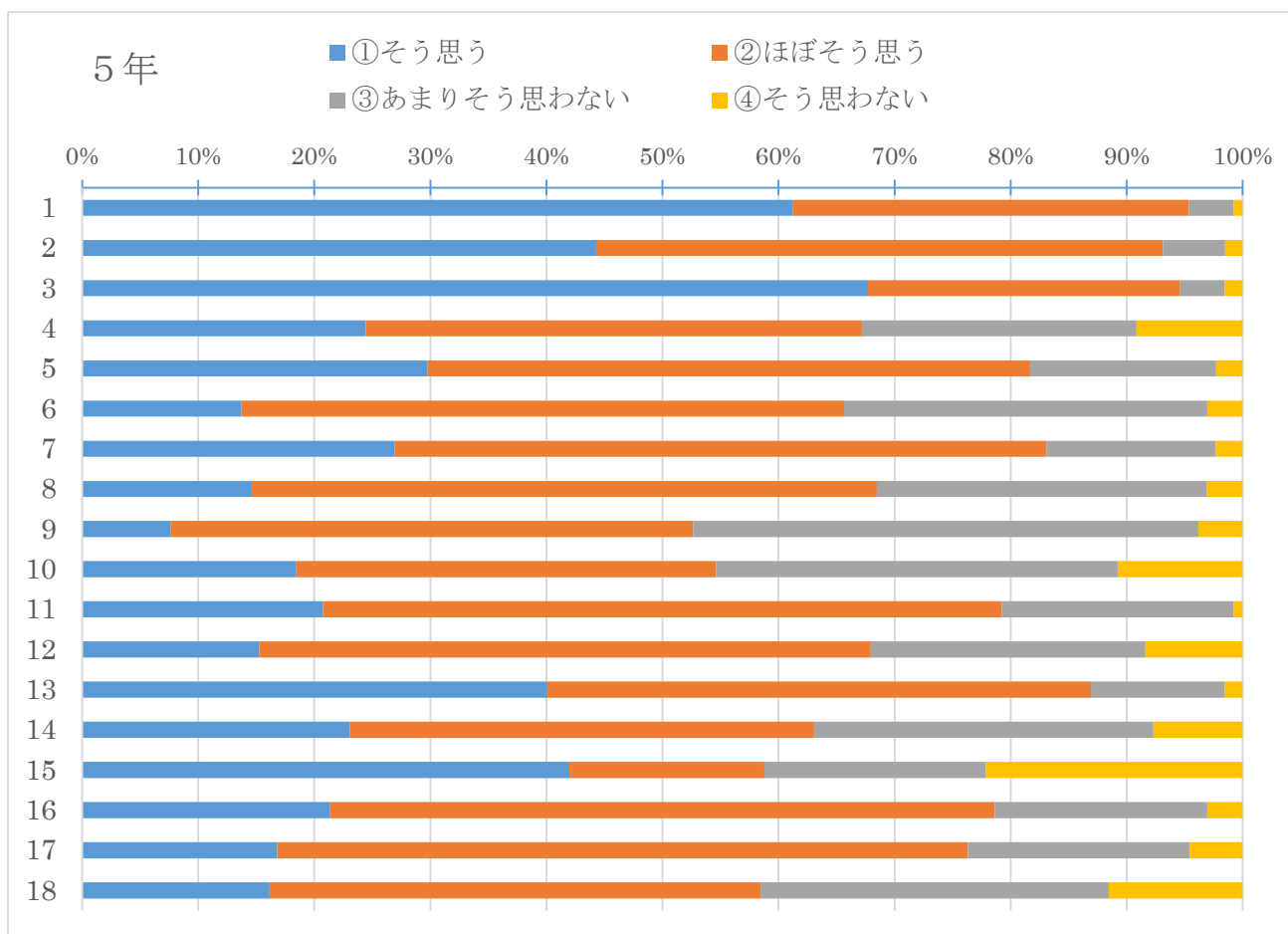


### 3年



### 4年



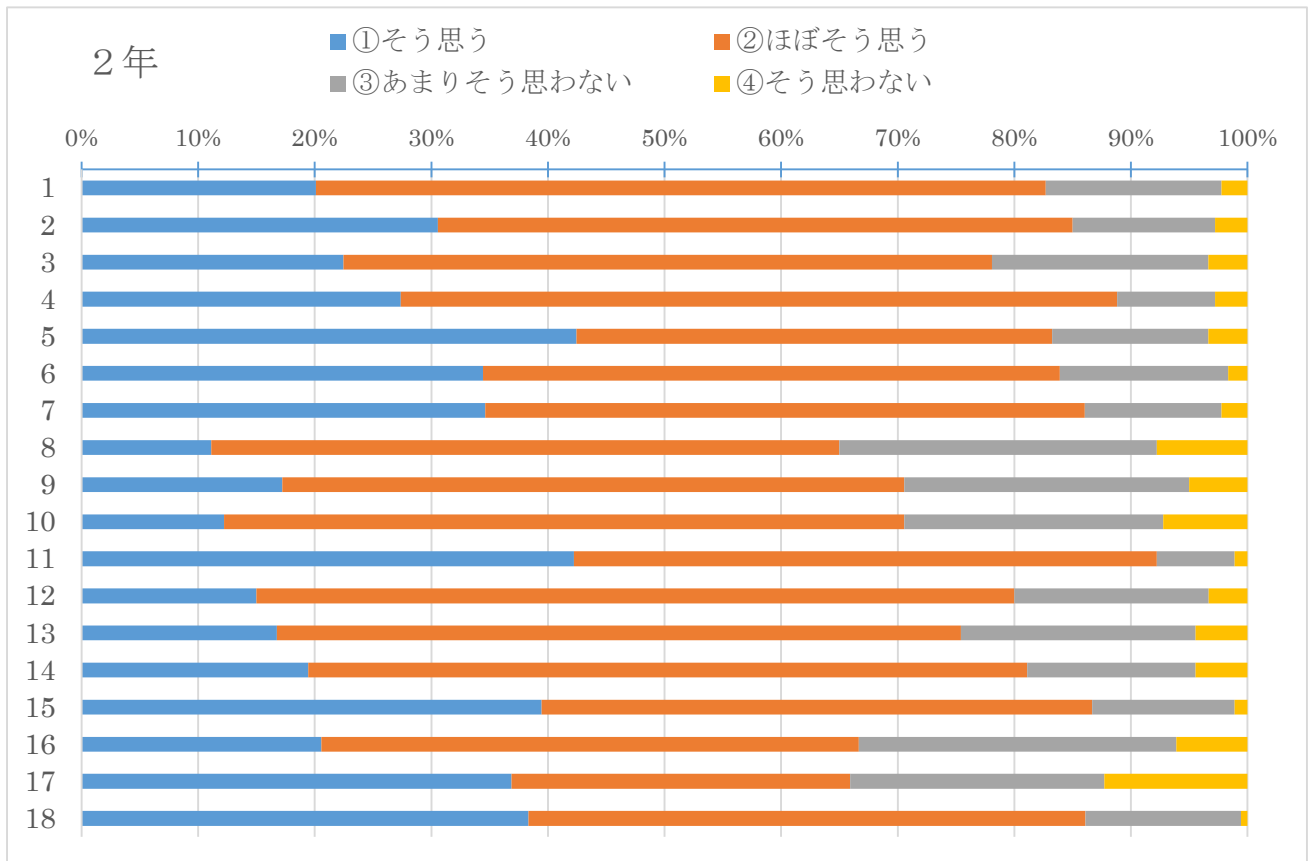
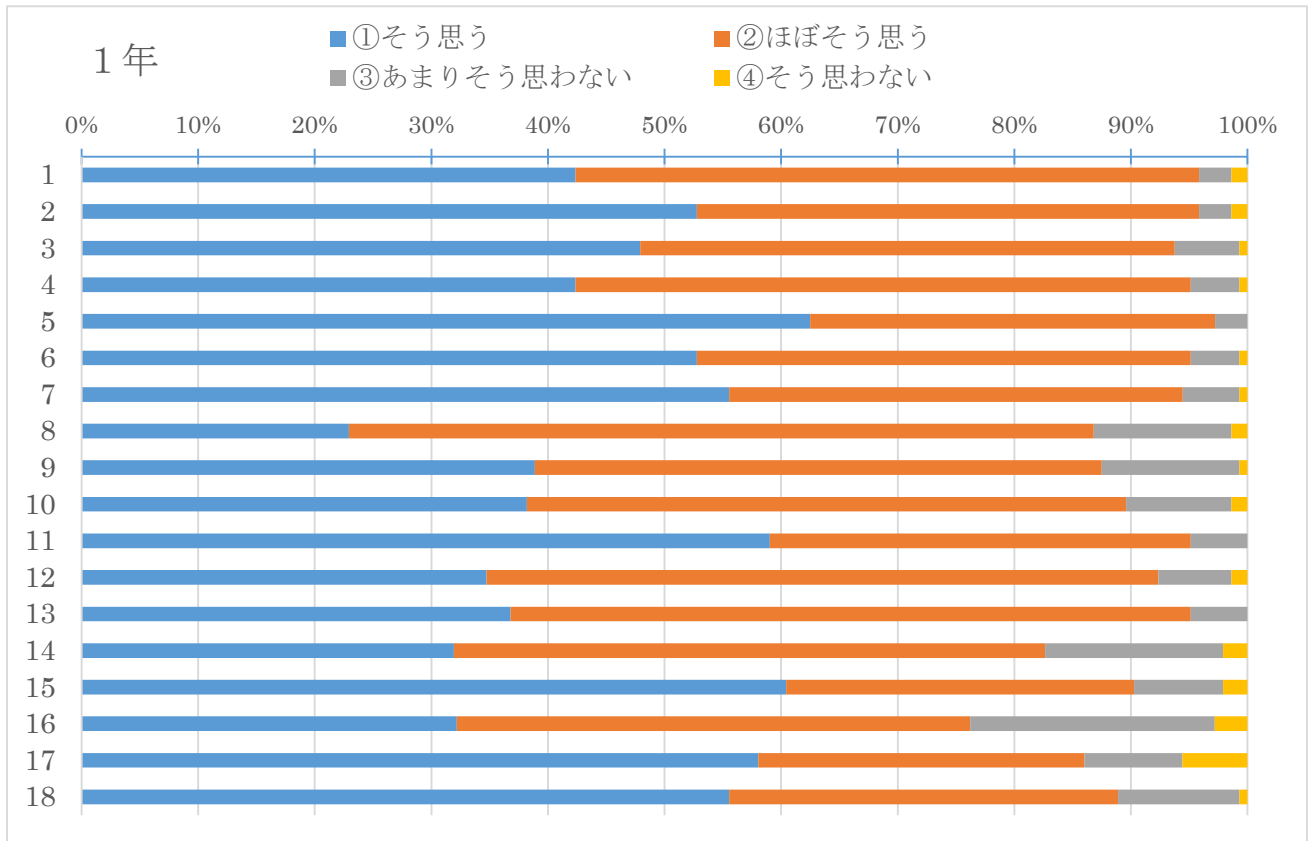


## ■ 保護者アンケート結果

### A 点数表示

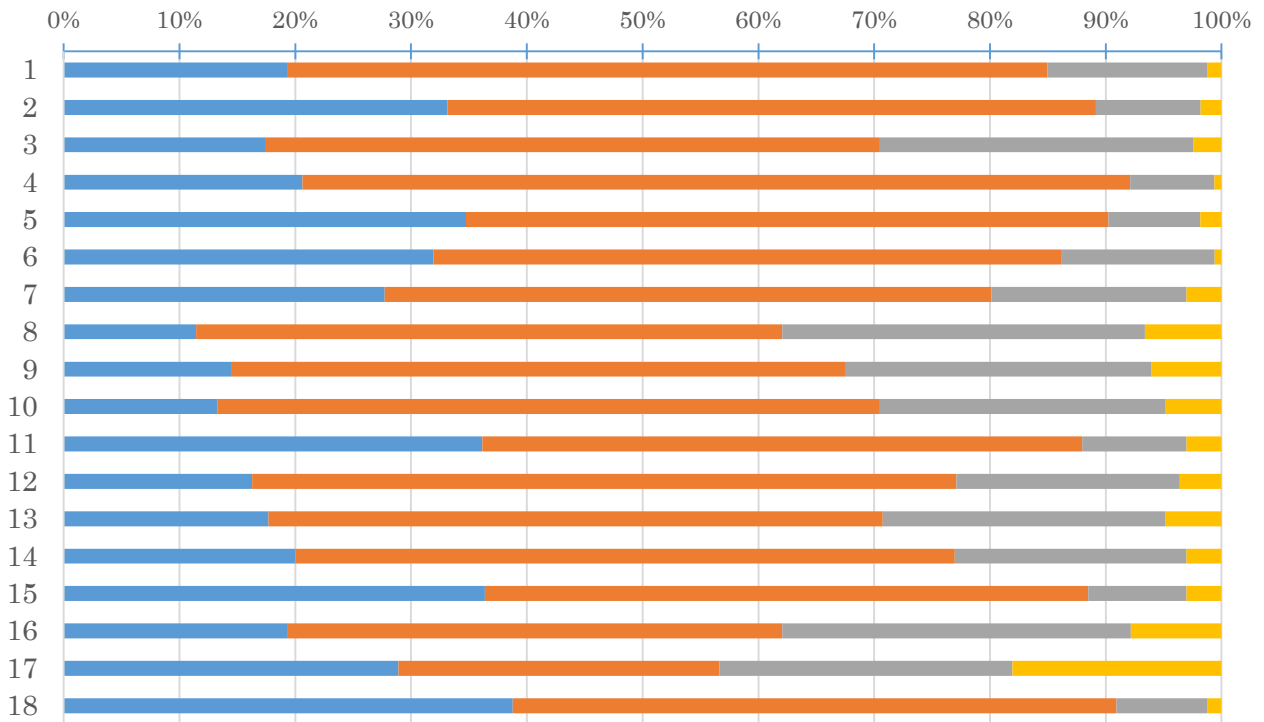
質問項目	1年	2年	3年	4年	5年	全体
Q1. 学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく保護者に伝えている。	3.37	3.01	3.03	3.13	3.13	3.12
Q2. 学校の教育方針に賛同している。	3.47	3.13	3.20	3.17	3.23	3.24
Q3. 学校の情報は、通信・ホームページ・メール配信や懇談会などでよく伝えられる	3.41	2.97	2.86	3.17	3.09	3.09
Q4. 学校は、子どもたちが安心して学べる環境づくりをしている。	3.37	3.13	3.12	3.14	3.27	3.20
Q5. 学校は、子どもたちが主体的に取り組む特色ある教育活動を行っている。	3.60	3.22	3.23	3.34	3.37	3.34
Q6. 学校は、グローバルな視点に基づく教育を行っている。	3.47	3.17	3.17	3.38	3.34	3.29
Q7. 学校では、授業や文化祭・合唱コンクールなどの学校参観がしやすい。	3.49	3.18	3.05	3.23	3.24	3.23
Q8. 教員は、わかる授業・生徒の学習意欲を引き出す授業に努めている。	3.08	2.68	2.67	2.58	2.85	2.76
Q9. 教員は、家庭連絡や保護者との意思疎通を図ろうと努めている。	3.26	2.83	2.76	2.80	2.78	2.88
Q10. 教員は、子どもの悩みや健康について気を配り、子どものことを理解しようと努めている。	3.26	2.76	2.79	2.81	2.84	2.88
Q11. 教員は、保護者の来校や電話に対して、ていねいな対応をしている。	3.54	3.33	3.21	3.23	3.28	3.32
Q12. 教員は、子どもの誤った行動に対して適切な指導をしている。	3.26	2.92	2.90	2.97	2.94	2.99
Q13. 教員は、子どもの努力や能力を適切に評価している。	3.32	2.88	2.84	2.88	3.00	2.97
Q14. 子どもは、あいさつ・言葉遣い・服装など、生活の基本が身に付いている。	3.13	2.96	2.94	2.99	3.09	3.01
Q15. 子どもは、学校にたくさんの友だちがいてと言っている。	3.49	3.25	3.22	3.19	3.17	3.27
Q16. 子どもは、生徒会や委員会活動に積極的に参加したり協力したりしている。	3.06	2.81	2.73	2.68	2.76	2.81
Q17. 子どもは、クラブ活動に積極的に参加している。	3.38	2.91	2.67	2.65	2.94	2.90
Q18. この1年間で、子どもなりに人間的に成長したことが感じられる。	3.44	3.24	3.28	3.23	3.31	3.30
	3.36	3.02	2.98	3.03	3.09	3.09

## B 分布表示



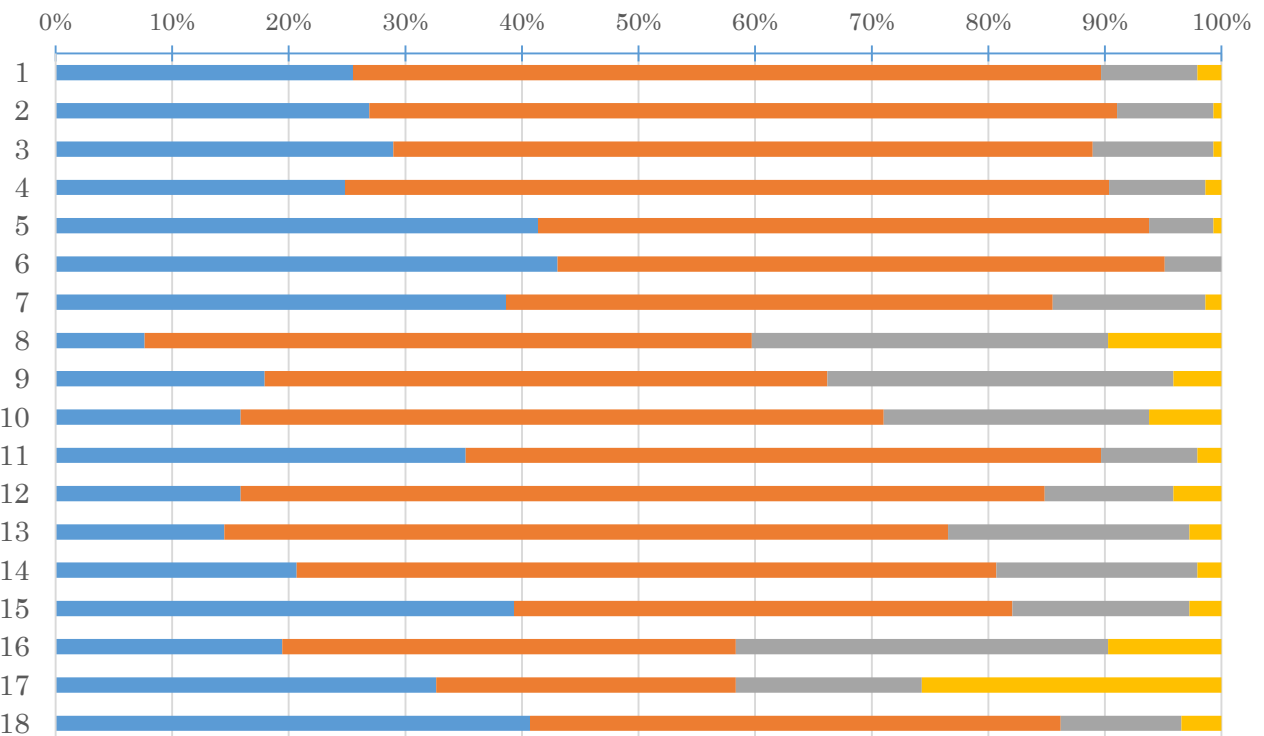
### 3年

■①そう思う                      ■②ほぼそう思う  
■③あまりそう思わない          ■④そう思わない



### 4年

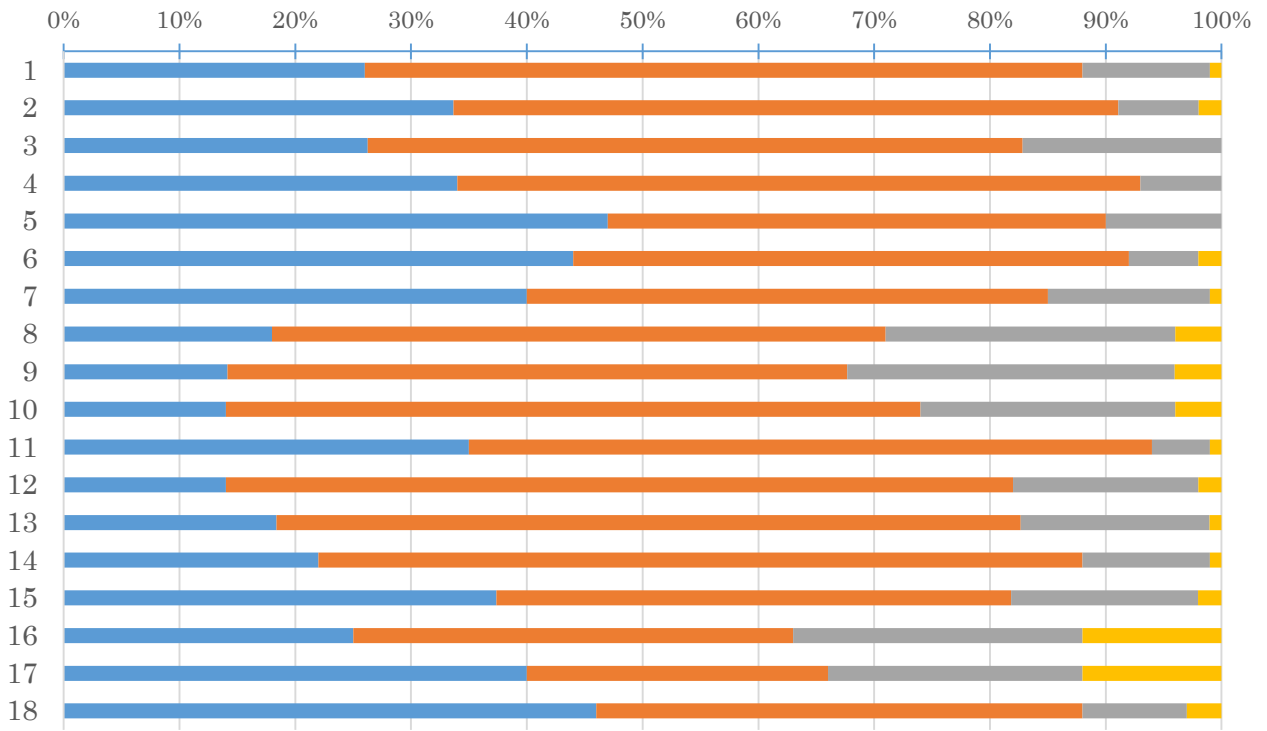
■①そう思う                      ■②ほぼそう思う  
■③あまりそう思わない          ■④そう思わない





# 5年

- ① そう思う
- ② ほぼそう思う
- ③ あまりそう思わない
- ④ そう思わない



## ■ 生徒の評価に関して

右表は生徒評価 21 項目（前期課程と後期課程各 18 項目で、Q2-4 の 3 項目が異なるため）について、評価の高い順に並べたものです。

### <評価の高い項目>

Q1 楽しい学校生活を送っている	3.4
Q3 後期：進路を考えるように	3.4
Q2 後期：ルールやマナー遵守	3.3
Q13 学校行事は成長の場に	3.3
Q2 前期：挨拶習慣が身につく	3.2
Q7 グローバルな視点から考える	3.2
Q7 自分の考えをまとめ発表	3.1

### <評価の低い項目>

Q4 後期：神戸大学を身近に	2.7
Q9 命や人権について学ぶ	2.8
Q14 自主活動に参加協力	2.8
Q18 学校の施設が充実	2.8
Q17 先生が生活・学習問題に対応	2.8
Q15 クラブ活動に積極的に参加	2.9
Q8 豊かな心や生き方を学ぶ	2.9
Q16 先生は的確に評価	2.9

※「人権」に関する項目が低い評価になっています。また、自主活動に関する評価も意外に低い結果が出ています。

### <学年別の傾向>

1年（3.31）で顕著に高く、その後、2年（3.05）3年（2.92）4年（2.75）と低下し、5年（2.96）でやや回復しています。一般に中高一貫教育校に見られる傾向ですが、4年の落ち込みはやや極端な印象を受けます。また、「先生は的確に自分を評価してくれる」でも4年（2.64）が低くなっています。「命や人権」に関する評価も後期課程で急落（3年 2.80→4年 2.39）しています。4年生は一般にまじめで生活態度もよいのですが、各種評価の低さとの関係が気になるところです。

授業関係では、「Kobe プロ」や「授業の工夫」についての評価が学年進行にしたがって低落傾向にあります。いっぽう「授業への参加意識」、「グローバルな視点の教育」については、2年以降大きな変化が見られません。何らかの工夫によって評価水準が維持されているとも考えられます。

5年になると多くの項目で評価の上昇が見られます。学校生活上の「主役」としての取組みが多くなることが影響しているとも考えられますが、今年度5年固有の特色なのか、5年に付帯する一般的特性なのかは今後の調査と検討を要する課題です。

	1年	2年	3年	4年	5年	全体
Q1.自分は、楽しい学校生活を送っている。	3.64	3.38	3.34	3.20	3.56	3.42
Q3.将来の進路について、考えるようになった。				3.25	3.61	3.43
Q2.学校のルールや社会的マナーを守ろうとしている。				3.20	3.36	3.28
Q13.学校行事(宿泊行事を含む)は、自分自身が成長する機会になっている。	3.60	3.30	3.19	2.90	3.25	3.25
Q2.あいさつの習慣が身についている。	3.29	3.21	3.21			3.23
Q7.学校では、グローバルな視点から考えたり学んだりする場がある。	3.51	3.07	3.09	3.01	3.08	3.15
Q4.時間を守り、きめられた服装や正しい言葉遣いをしている。	3.11	3.21	3.09			3.14
Q3.毎日の清掃をきちんとしている。	3.24	3.14	2.95			3.11
Q11.自分の考えをまとめたり発表したりする機会に、しっかりと取り組んでいる。	3.25	3.16	3.07	2.86	2.99	3.07
Q5.授業には、積極的に参加している。	3.11	2.99	2.93	2.96	3.09	3.02
Q10.Kobe・プロジェクト(総合学習)は、自分にとって大切な学習である。	3.53	3.14	2.90	2.67	2.62	2.97
Q6.授業の内容や教え方を工夫している先生が多い。	3.39	2.99	2.79	2.75	2.76	2.93
Q16.先生は、的確に自分を評価してくれる。	3.28	2.87	2.80	2.64	2.97	2.91
Q12.地震や火災などが起こった場合、避難方法などどうすればよいかを教えてもらっている。	3.20	3.03	2.86	2.59	2.75	2.89
Q8.学校には豊かな心や人の生き方について考えたり学んだりする場がある。	3.33	2.91	2.75	2.62	2.80	2.88
Q15.クラブ活動に積極的に参加している。	3.41	2.95	2.61	2.53	2.79	2.86
Q17.先生は、いじめや生活・学習の問題について対応してくれる。	3.20	2.90	2.67	2.51	2.89	2.83
Q18.学校の施設・設備が充実している	3.30	2.99	2.74	2.38	2.63	2.81
Q14.生徒の自主活動(生徒会、学級、委員会等)には、積極的に参加し協力している。	2.96	2.80	2.79	2.55	2.78	2.78
Q9.学校には命や人権の大切さについて考えたり学んだりする場がある。	3.18	2.90	2.80	2.39	2.56	2.77
Q4.さまざまな取り組みを通して、神戸大学を身近に感じるようになった。				2.48	2.82	2.65
	3.31	3.05	2.92	2.75	2.96	3.00

## ■ 保護者評価に関して

右表は保護者評価 18 項目について、評価平均値の高い順に並べたものです。

### <評価の高い項目>

Q5 主体的に取り組む特色ある教育	3.3
Q11 保護者対応がていねい	3.3
Q18 子どもが人間的に成長した	3.3
Q6 グローバルな視点の教育	3.3
Q15 友だちがたくさん	3.3
Q2 学校の教育方針に賛同	3.2
Q7 学校参観がしやすい	3.2

### <評価の低い項目>

Q8 わかる授業等に努めている	2.8
Q16 (自主活動)に積極的に参加	2.8
Q9 家庭との連絡・意思疎通	2.9
Q10 子どもを理解しようと努力	2.9
Q17 クラブ活動に積極的に参加	2.9

※授業に関する評価 (2.76) が最も低い。

### <学年別の傾向>

1年での評価が顕著に高い。2～5年にかけては全体として3.0程度の評価で年次進行で下がる傾向にある生徒の評価とは違って大きな差は見られません。

「グローバルな視点の教育」については、

4・5年で上昇しており、SGH指定の影響によると推察されます。「授業」評価(総平均2.76)については2年→3年→4年と下降し5年でやや回復しています。「授業」評価全体では生徒の評価(総平均2.93)よりも低くなっています。授業への信頼欠如は、本校教育の「沽券」に関わる事態であり、今年度は授業力向上委員会を立ち上げて改善を図ります。「クラブ活動」について生徒の評価と同様に、3・4年で評価が下がる傾向にあります。

	1年	2年	3年	4年	5年	全体
Q5. 学校は、子どもたちが主体的に取り組む特色ある教育活動を行っている。	3.60	3.22	3.23	3.34	3.37	3.34
Q11. 教員は、保護者の来校や電話に対して、ていねいな対応をしている。	3.54	3.33	3.21	3.23	3.28	3.32
Q18. この1年間で、子どもなりに人間的に成長したことが感じられる。	3.44	3.24	3.28	3.23	3.31	3.30
Q6. 学校は、グローバルな視点に基づく教育を行っている。	3.47	3.17	3.17	3.38	3.34	3.29
Q15. 子どもは、学校にたくさんの友だちがいると言っている。	3.49	3.25	3.22	3.19	3.17	3.27
Q2. 学校の教育方針に賛同している。	3.47	3.13	3.20	3.17	3.23	3.24
Q7. 学校では、授業や文化祭・合唱コンクールなどの学校参観がしやすい。	3.49	3.18	3.05	3.23	3.24	3.23
Q4. 学校は、子どもたちが安心して学べる環境づくりをしている。	3.37	3.13	3.12	3.14	3.27	3.20
Q1. 学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく保護者に伝えている。	3.37	3.01	3.03	3.13	3.13	3.12
Q3. 学校の情報は、通信・ホームページ・メール配信や懇談会などでよく伝えられる	3.41	2.97	2.86	3.17	3.09	3.09
Q14. 子どもは、あいさつ・言葉遣い・服装など、生活の基本が身に付いている。	3.13	2.96	2.94	2.99	3.09	3.01
Q12. 教員は、子どもの誤った行動に対して適切な指導をしている。	3.26	2.92	2.90	2.97	2.94	2.99
Q13. 教員は、子どもの努力や能力を適切に評価している。	3.32	2.88	2.84	2.88	3.00	2.97
Q17. 子どもは、クラブ活動に積極的に参加している。	3.38	2.91	2.67	2.65	2.94	2.90
Q10. 教員は、子どもの悩みや健康について気を配り、子どものことを理解しようと努めている。	3.26	2.76	2.79	2.81	2.84	2.88
Q9. 教員は、家庭連絡や保護者との意思疎通を図ろうと努めている。	3.26	2.83	2.76	2.80	2.78	2.88
Q16. 子どもは、生徒会や委員会活動に積極的に参加したり協力したりしている。	3.06	2.81	2.73	2.68	2.76	2.81
Q8. 教員は、わかる授業・生徒の学習意欲を引き出す授業に努めている。	3.08	2.68	2.67	2.58	2.85	2.76
	3.36	3.02	2.98	3.03	3.09	3.09